

## リハビリテーション学部作業療法学専攻生が シンガポールにて初めて臨床実習を行いました

2009年2月28日～3月15日の2週間、第1回国際作業療法実習が行われ

ました。希望者の中から面接と小論文の選考を行い、2名の実習生を選出。シンガポール国内の3ヶ所の施設にて地域における作業療法を体験しました。また、筋ジストロフィーの支援団体に出向くなど、幅広い実習に取り組みました。

### 《実習参加学生の感想》

◆中澤明日香さん(実習参加時3年次生) シンガポールに向かう飛行機の中では不安だらけでしたが、現地に到着してからはホストファミリーや実習先のアドバイザーの方からどんな質問にも細かく答えていただき、最初の不安は吹き飛びました。実習先では様々な作業療法の視点を知り、とても充実した毎日、実習参加を決心して本当に良かったと思いました。私が1年次生の時にシンガポール研修に参加した際NYPの学生だった人が、今回実習先で作業療法士として仕

事をしていたので、驚くと共にとても心強かったです。

### ◆市井理沙さん(実習参加時2年次生)

夏にシンガポール研修に参加し、5ヵ月後にまたシンガポールで実習ができたことで作業療法の素晴らしさと大変さの両方を学びました。私は2年次に参加したので、まだ日本での実習経験はなく知らない事だらけでしたが、今回のシンガポールでの実習を体験したことは、これからの日本での実習にも必ず生かせると思います。これから海外研修・実習などに行く人は、どんなチャンスも逃さずどんどん参加すると良いと思います。

